

# 会 議 記 録

会議名称	第 5 回 杉並区みどりの基本計画検討委員会	
日 時	令和 6 年 3 月 27 日(水) 10:00 ~ 11:55	
場 所	杉並区役所 8 階第 AB 会議室	
出席者	委員	7 名  河村委員、佐藤委員、和田委員、稲田委員、武井委員、野田委員、峯岸委員
	事務局	5 名 都市整備部土木担当部長：土肥野 都市整備部みどり施策担当課長：石森 都市整備部みどり公園課みどりの計画係長：北澤 都市整備部みどり公園課みどりの計画係：長谷川 都市整備部みどり公園課みどりの事業係：津金
傍聴者	1 名	
資 料	○次第 ○杉並区みどりの基本計画検討委員会（第 5 回）資料 ○（別紙 1）杉並区みどりの基本計画素案（作成状況）	
<p>会議要旨</p> <p>1 開会</p> <p>○事務局 あいさつ</p> <p>2 議題</p> <p>○事務局 前回の振り返り、杉並区みどりの基本計画素案の説明</p> <p>○進行役 ただ今の説明について、ご質問・ご意見をお願いします。</p> <p>○委 員 第 1 章計画の基本的な考え方で、「みどりの基本計画とは」と「改訂の視点」が、目次と逆になっています。どちらが正しいのでしょうか。</p> <p>○事務局 目次が反対です。</p> <p>○委 員 はじめにからの流れで第 1 章は重要だと思っています。内容のストーリーがバラバラして分かりにくいと思いました。自分には関係ない？とみどりは必要？のイラストが重複して</p>		

いると思います。鉛筆画のイラストの位置づけが何をイメージしているのか分かりにくい  
です。価値を伝えたいのか、身近なみどりに感じることを伝えたいのか。そして、みどりは  
必要？のイラストも重複しています。また、時間軸のイラストはこれでよいのか精査する  
必要があります。例えば、用水に水が流れているのはどういことを伝えたいのか、夜  
にセミが鳴くのは騒音だという人もいますので、自然があると豊かだということがあまり  
伝わってこないなと感じました。みどりの価値について教育の視点が抜けていると思いま  
した。子どもの遊びの場、ふれあえる場として必要だと思います。洪水のリスクを減らす  
という点も分かりにくく感じました。洪水とみどりの関係がつかがっていません。屋敷林  
があることで、水が浸み込むといった流れの方がよいと思いました。次に、杉並区の特徴  
から見た緑被地の状況では、みどりが多くに見えますが、戸建住宅を表しているの  
ですよね。誤解を招きやすいと思います。杉並区全域の緑被地分布図をみると、みどりがだ  
いぶ少なくなってきたり、点々と残っているなと感じますが、杉並区の特徴から見た  
緑被地の状況と杉並区全域の緑被地分布図がつかがらない、分かりにくいです。杉並区  
の特徴から見た緑被地の状況は、戸建住宅とみどりを表しているのでしょうか、それとも戸  
建て住宅のみを表しているのでしょうか。

- 事務局 戸建住宅と集合住宅が杉並区の多くを占めていることを表しています。
- 委員 この後に、「民間の土地が約7割を占め、戸建住宅がもっとも大きな割合を占めています。」  
と記載されており、民間の土地に緑被地が多くありますというような理解を誤解しそうで  
す。
- 委員 戸建住宅が敷地のみを意味しているのか、それとも建物のみを表しているのかどちらでし  
ょうか。
- 事務局 土地を表しています。
- 委員 土地をみどりで表しているのは、誤解を招きやすいですね。資料編にある用途とは別物で  
すか。
- 事務局 用途地域とは別物です。
- 委員 洪水のリスクを減らす図は、ただ、水が川を流れる図と、地下に浸透する図とした方がよ  
いです。
- 委員 樹木も植えて、土に浸透するイメージを書き加えた方が良いです。戸建住宅の図は誤解を  
招きやすいので修正し、表現も修正した方が良いです。杉並らしいみどりから地球規模で  
のみどりを取り巻く環境までの流れが分かりづらいので、再考した方が良いです。杉並ら  
しいみどりには戸建の話もあると思います。民地のみどりが必要なのに無くなってしま  
うのはなぜかという相続やお金の話が絡むからです。そして、都市の中にある弊害と記  
載していますが、弊害だという印象がついてしまう気がします。土地所有者の方は、残し  
たくても苦情や要望で残しづらいし、つらい思いをしています。そのような方が、これ  
を読むと保護樹木や樹林は弊害だという気持ちになるので気を遣う必要があります。苦労し  
て残しているのに、都市化の中でみどりのデメリットが見えますが、メリットの方が大き  
いです。ここで、みどりのメリット価値を認識して、落ち葉も掃除しようという気持ちに

するため、表現を修正した方が良いです。お金がかかるという図は、分かりづらいです。相続の苦勞の図も分かりづらいです。何でこうなるのかについて説明を加えた方が良いでしょう。みどりでつながるまち、グリーンインフラの考えを活かした安全安心なまち、地球規模でのみどりを取り巻く環境も唐突すぎるので、ストーリーが必要です。みどりがつながるまちでは、家の行き来だけではなく、歩いて楽しむこと図があります。図はこれから改善していくと思いますが、くるくる周るだけでなく、そこには駅、公園を周って楽しむという意味があります。何を表しているのか考える必要があります。

○委員 緑被率は緑地の割合ですが、緑被地は戸建て住宅のみどりも含めますか。緑被地の図はメッシュではないですか。

○事務局 含めます。メッシュではないです。

○委員 グリーンインフラの考えを活かした安全安心なまちの表に、杉並区と国内の事例がありますが、この表は時系列になっていません。あと、国内の災害でなぜこれを選ぶのかよくわからないのですが、平成27年に発生した関東東北豪雨において鬼怒川が決壊しました。また、令和元年の台風19号がなぜ抜けているのか。これは被害が大きいので、入れてください。

○委員 なぜ地震を記載しているのですか。

○事務局 グリーンインフラががけ崩れや火災の延焼防止に効果があるからです。

○委員 阪神淡路大震災の発災時、公園の木が延焼を防止したから記載したのだと思いますが、一般の方は分からないと思います。

○委員 地震時の効果の写真もあると良いです。

○委員 「改定の視点」と「みどりの基本計画とは」は目次どおりの順番が良い。はじめに「みどりの基本計画とは」を説明して、「改定の視点」を記載してはどうか。

○事務局 ストーリーについては、庁内の会議でも指摘されています。読む計画ではなく、見る計画に変更したため、かえって分かりづらくなっているのかもしれませんが。その点については、改善していきます。

○委員 策定後、運用は次年度以降でしょうか。

○事務局 次年度以降になります。

○委員 指定管理者との契約の中に、うまく事業は展開できますか。

○事務局 事業の内容によりますが、指定管理者と調整して進める予定です。

○委員 序章はつかみななのでとても重要だと思います。その中で、イラスト表現はよいと思います。みどりの必要性について情緒的な面だけでなく、災害の時にも緩衝材になるという面もイラストで表現したほうがよいです。イラストは若い方、高齢な方にも分かりやすいと思います。ただ、セミは夜鳴かないなど、イラストは修正した方が良いでしょう。次に、緑被率達成のために布団1枚分は分かりやすかったです。区民が変えるというイラストの図も分かりやすいと思います。財源の確保で、森林環境譲与税の課税分の使われた方が今のままでいいのかと思いました。公園のベンチに使うだけでなく、みどりの取り組みに使っているのではないのでしょうか。

- 事務局 補足で、自分には関係ない?～こんな場面ありませんか～を説明すると、私たちの生活の中でみどりは溶け込んでいることを気づいてほしいということで記載しました。
- 事務局 説明しないと伝わらないということでは適當ではないと認識しています。
- 事務局 公園がシーンで変化することを考えて時間設定してイメージにしたのだと思いますが、自分が行動してどのようにみどりと接するのかなど考えたほうがよいかもしれません。
- 委員 みどりも重要なインフラストラクチャー（目に見えない構造物）だということをイラストにあるとよいです。
- 委員 ～みどりの価値とは～において目に見えない効果をイラスト化し、～こんな場面はありませんか～では1枚でまとめると分かりやすいかもしれません。そうすれば、イラストの重複を避けることができます。
- 委員 生産緑地の説明も加えてはいかがでしょうか。
- 事務局 用語集も今後付け加えます。
- 委員 グリーンインフラの定義は、国土交通省では、自然機能を社会解決に生かすとしていて広義の意味です。本計画案では、貯水機能に特化していると思います。どう用語集で説明していくのか難しいですが、貯水機能のみで語らないでほしいと思います。
- 事務局 杉並区は治水対策を重要視しているので、このような表現となっていますが、グリーンインフラは治水のみではないので、どう表現していくのか考えます。
- 委員 雨庭やレインガーデンということもあります。
- 委員 流域対策の一環としてのような記載も必要だと思います。
- 委員 区内の小中学校をみると、みどりが充実しているところと隅に追いやられているところがあります。取り組みの中に、子どもがみどりに親しみもつために、学校のみどりについて考えるべきです。主事さんの取り組み度合いにも違いがあります。子どもがみどりと親しみをもつために、木陰にベンチを置くなどどうでしょうか。
- 事務局 教育分野のみどりも必要だと思います。
- 委員 農地のイラストで、今後のストーリーが欲しい。お金がかかる、相続の先がどうなっていくのかあるとよいです。
- 委員 地権者の責任のように思われないう表現し、誤解を招かないようにする必要があります。言われて心を痛め、苦情もそうですが、樹木を育てて代々やってきたのに、宅地化してしまい、後から来た人に苦情を言われる状況なので、土地を持ち続けることが辛いと誤解を招かないようにする必要があります。乗用車 0.3 台分の表現がよく分からない。駐車場のみどりは考えた方がよいと思います。
- 委員 m×m、cm×cmのような表現もあるのではないのでしょうか。
- 委員 乗用車の説明は分かりやすいので、吹き出しで説明するのはどうでしょうか。
- 事務局 布団は大きさのイメージを、乗用車は緑化の方法について説明していますが、イコールでつなぐとわかりづらいので。改善する必要があります。
- 委員 戸建の緑被地にこの面積分緑被してくださいという意味ですね。1棟あたり 2.2 m<sup>2</sup>という表現は、他の自治体でも見たことがないので、頭に入りにくいです。区民の方も一緒にや

ろうよということで表現するならば、書き方を修正したほうがよいです。

- 委員 駐車場1区画の標準の大きさがあるので、それで示してはどうか。
- 委員 敷布団にこれだけ植えればよいという表現が分かりやすいと思います。どれくらいの大きさの目安があると分かりやすいです。
- 委員 戸建住宅に樹木を植えるのはハードルが高く、葉やごみが落ちるので植えたくはないと思うはず。あと、チェンジアッププロジェクトの図は分かりにくいです。上流から何か流れていますが、図は下流から流れていますので流れの向きを変えて、学ぶ、知る、行動するにする方が分かりやすいです。人を巻き込むではなく、伝える、繋がるといった表現に変えたほうがよいです。次に、取り組み1-1で、最初みどりのボランティア講座から始まるので、そうではなく、みどりの導入部としてみどりのイベントから記載するなど工夫してください。講座は、step1知る、step2学ぶ、step3行動する、のstep3です。まず、関心をもってもらうことが大事です。ボランティア講座ではなく、楽しい講座という表現にするとよいのではないのでしょうか。次に、2-2区民ニーズに応える公園づくりは行政が区民に応えるという形になってしまうので、自分たちで使いこなすというような表現に変更してはどうでしょうか。区民自身が考えて、公園のルールを考えていくような一歩進んだ考え方にしてはどうでしょうか。2-3生き物とつながるまちづくりでは、自然共生サイトからではなく、生きもの調査や観察会から始まり、在来種の植栽を推奨し、自然共生に認定していく流れがよいと思います。自然共生サイトはみどりのベルトともつながっています。最後には、自然共生サイトが連携し、ネイチャーポジティブにつながると思います。
- 委員 計画の期間はどうなっていますか
- 事務局 基本計画の計画期間は令和12年、目標年次の期間は令和14年です。
- 委員 実現性はどうか。
- 事務局 目標を指標として、どれだけ達成したのか適宜示したいと思います。みどりの将来像はどれだけ達成できたのかを測るのは難しいと思います。
- 委員 副読本について、どこが重要なのかを教えてください。そうしないと、眠ったままになってしまう可能性もあります。副読本を活用して学校の木の勉強ができるかもしれません。
- 事務局 どのように活用されているのか把握できていないところがあるので、調査する必要があると考えています。
- 委員 副読本を配布して終わりとならないようにしたい。今後は講師バンクによって区の職員等が講師として関わることで環境教育を積極的に進めたいです。
- 委員 みどりのポータルサイトは、とても重要だと思います、これは部局をまたいで活用できますか。部局が違って同じようなイベントやセミナーもしています。公園でスポーツ体験などもあります。ニューヨーク市では、公園部局がポータルサイトをつくり、情報発信しています。区のHPは用がなければ開きません。ラインなどとも連携して、使い方、マネジメントを考えていく必要があります。ポータルサイトが中間支援団体組織の代わりにな

ります。

- 委員 第5章ですが、地域別に方針図を作成しているので、方針図を参考に各地域の方々と話し合いの場を設けるとよいと思います。
- 委員 第6章の杉並区環境清掃審議会は既存のものですか。
- 事務局 この審議会は、既存の審議会です。
- 委員 この審議会が進行管理するのでしょうか。
- 事務局 まだそこまでの考えには及んでいません。
- 委員 江東区、板橋区では、推進会議を設けて、地域のステークホルダーと共に進めています。もっと進めるための仕掛けが必要だと思います。
- 事務局 策定後も庁内会議で継続して進める方法もありますし、第三者の委員会を設けて進めていく方法もあります。
- 委員 計画後も区民と一緒に進めていくために、第三者委員会を設置するとよいと思います。理想をいうと、エリアごとに地域と一緒に考える推進会議を設けるのがよいです。

### 3 連絡事項

なし